



シルバーだより 第24号

かみす

自主・自立・共働・共助

平成25年6月30日発行

公益社団法人 神栖市シルバー人材センター

茨城県神栖市溝口4991番地5

電話 0299-92-7583

URL <http://www.silver-brain.com/ibaraki/kamisu/>

発行・編集／広報委員会



「自主・自立・共働・共助」を考える

公益社団法人 神栖市シルバー人材センター
理事長 沼田 光彦

次の文章は会員のマナーについて、シルバー人材センター関係の月刊誌に投稿されたある会員の投稿文の一部であります。「会員にとってセンターは第二の人生で唯一心のよりどころであり、心の休まる場所、そしてコミュニケーションの場でもある。仲間は共に心を許せるパートナーで人生の友である。晩節を汚すことなくまずグループ内の対人関係から見直していこうではないか。さらにセンターの活動に誇りを持ち共助の精神を発揮して、市民の皆さんに愛されるように努めていこう。」

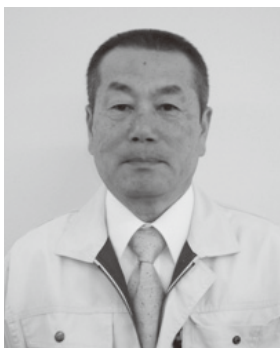
私達の心構えを適確に述べておられると思い紹介させていただきました。当センター内においても、グループ内での対人関係で何件かのトラブルを耳にしたことがあります。トラブルの原因はいずれも考え方の相違によるもので、主義主張の違いに起因するものが殆どです。作家の三浦綾子さんは、「人間の原罪」とは、生まれながらにもっている罪つくりな心のことであり、人それぞれの持っている「物差し」が違う、言いかえると判断の基準が違うことから起こる、と言っておられます。自分でよかれと思っても、他人は必ずしもそうは思わない、ということでもあります。

また、曾野綾子さんの著書『老いの才覚』の中で「老化度」を測る目安は、シワや肌の張り等の外見ではなく「〇〇してくれない」という言葉を使う頻度だと書いておられます。更に「甘え」については「〇〇してもらってあたりまえ」と思っている老人も多い、とも書かれております。その中で「自立とは、とにかく他人に依存しないで生きること。」とも書いておられます。「老人の甘え」を認識する必要がありますが、「老人は穏やかでおおらか」ともいわれるが、反面「寛大ではなく頑固であり、気が短くキレやすい」一面も持っている、私は最近自戒しています。

人間の心の深さ、複雑さを自覚し、他者への気配りを大切にしながら、センターの理念である「自主・自立・共働・共助」の生活を送るように努めましょう。それが自分自身への幸せにもつながるのではないのでしょうか。

就任ごあいさつ

公益社団法人神栖市シルバー人材センター
常務理事兼事務局長 比嘉 信雄



この度、4月1日から当センターの常務理事兼事務局長に就任いたしました。非常に厳しい経済情勢・雇用状況の中で大役を拝命いたしまして身の引き締まる思いでございます。また高齢化社会が進展する中でシルバー人材センターの果たすべき役割は益々重要であると認識し、これまで培ってきた皆様の豊富な知識と経験・技術を更に生かすとともに、地域社会に貢献することが益々大切になってくるものと考えています。「福祉の受けてから社会の担い手へ」とのセンターの活動理念を基本に、微力ではありますが当センターの更なる発展のため、職員と共に頑張っていきたいと思いますので、前任者同様、会員の皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人神栖市シルバー人材センター

平成25年度定時総会

平成25年6月20日(木)神栖市文化センター「大ホール」において、公益社団法人神栖市シルバー人材センター平成25年度定時総会が開催されました。

来賓として保立市長にご出席を頂きました。会員出席者は109名(委任状・議決権行使231名)で、報告事項として監査報告・平成24年度事業報告・平成25年度事業計画及び収支予算報告が、議決事項として平成24年度財務諸表等の承認・役員の選任・役員の報酬等支給総額の決定について、それぞれ承認されました。

また功労者とし特別表彰3名、会員表彰9名に表彰状が贈られました。

総会終了後には、鹿嶋警察署 交通課企画・安全係長の芳賀 勉氏による交通講話「高齢者の事故防止」が行なわれました。



この交通講話は、就業途上で会員が起こす交通事故が増加傾向にあることから、当センターの安全・適正就業推進委員会が計画し実施したものです。会員の皆様には仕事中は勿論、就業途上の交通事故に十分注意して頂きたいと思います。

本総会で承認された新役員、また功労者として表彰された方々をご紹介します。



理事長	沼田 光彦	神 栖
副理事長	竹内 利夫	土合 南
常務理事	比嘉 信雄	矢田 部
理 事	藪田 紀仁	知 手
理 事	伊東 よし子	太 田
理 事	森 喬	大野 原
理 事	篠塚 初枝	横 瀬
理 事	大島 房男	平泉 東
理 事	遠藤 誠輝	太田新町
監 事	安澤 宏介	知 手
監 事	遠藤 日出子	日 川
監 事	戸村 光男	知手中央

特 別 表 彰	野 沢 信 吉	筒 井
	石 井 し つ	日 川
	山 本 三 郎	奥 野 谷
会 員 表 彰	下 宮 路 友 江	大 野 原
	井 上 美 智 子	平 泉
	山 本 豊 子	奥 野 谷
	地 引 武 夫	大野原中央
	橋 本 房 子	知手中央
	平 田 成 子	神 栖
	山 本 貞 義	奥 野 谷
	谷 下 田 吉 雄	知 手
	山 中 利 夫	息 栖

7月は「安全・適正就業強化月間」です!

全国統一スローガン ～安全は 一声かける ゆとりから～

全国シルバー人材センター事業協会では、7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業についてより着実な成果を図ることとしています。

全国で発生している重篤事故(6ヶ月以上入院～死亡)で最も多い原因は「転落・墜落」(全体の約70%)です。脚立・三脚使用時に多く発生、脚立上での電動(エンジン含)工具使用中の死亡事故も発生しています。また自転車による就業途上の交通死亡事故も深刻な問題になっています。

重篤事故のほとんどは油断・不注意によるものです。日頃から安全就業を心がけましょう。

会員のひそば

私の趣味

私の趣味は「釣り」と「園芸」です。釣りを始めたのは14歳頃でもう50年にもなります。今では「釣りの会」もでき会員は34人になります。

私はシルバーの会員になってから4年になりますが、会員の中にも釣りが好きな人がいたり、釣り人の出会いもあって仲間がいっぱいできました。



釣りに行く場所は主に神栖北浜・波崎新港・鹿島方面・銚子方面に行きます。釣る魚は四季により様々ですが、ヒラメ・カンパチ・イナダ・ワラサ・タコ・ヒラツメガニと色々です。大物が釣れた時は最高です!また釣りをしながら皆で食べるおにぎりは本当においしいです!これからも大好きな釣りを楽しめたらと思っています。

震災から2年が過ぎましたが、海も放射能問題がありました。一日も早く安心して釣りができる海になってほしいです。

仕事も釣りも、出会いを大切にしたい「釣り」を仲間と楽しんでいきたいと思っています。

(波崎・溝口 政勝)



※「磯投げ情報誌」に記載された記事

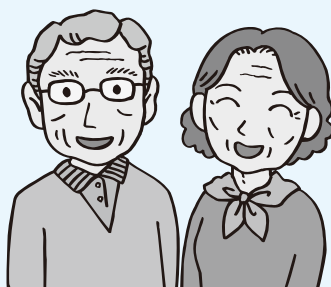
新入会員紹介

新しい仲間です。
皆さんよろしくお願ひします。

◆4月～5月入会者

会員番号・氏名・地区名で記載(入会順・敬称略)

2743 比嘉 信雄 矢田部	2770 篠塚 文子 土合南	2788 中村美恵子 土合本町
2753 池田 ツヤ 溝口	2771 佐藤 好江 土合南	2789 吉川 昌子 土合本町
2754 仲妻 正 溝口	2772 鈴木たか子 須田	2790 大塚けい子 筒井
2755 宮崎美知子 大野原	2773 秋葉 照子 知手中央	2791 出山 政男 知手
2756 池田 秀雄 横瀬	2774 嶋田 浩 高浜	2792 戸島 安子 賀
2757 伊藤 俊也 日川	2775 渋谷 トメ 知手中央	2793 小松 洋子 太田新町
2758 東本 浩 大野原中央	2776 阿部 佑子 横瀬	2794 奥村 俊亮 矢田部
2759 麻生 利昭 横瀬	2777 小池 保雄 知手中央	2795 小堤てる子 知手中央
2760 大槻 洋一 大野原	2778 小野 恵子 日川	2796 内田 孝子 神栖
2761 麻生アサ子 横瀬	2779 鈴木美津子 太田	
2762 加賀谷誠八 深芝南	2780 那須 弘子 太田	
2763 松本 久男 神栖	2781 村杉 進 矢田部	
2764 鈴木 嘉征 知手中央	2782 田中 増幸 知手中央	
2765 松木平一男 賀	2783 岩上 久子 深芝南	
2766 柴田 等 波崎	2784 丹代 俊夫 知手中央	
2767 安藤五十鈴 矢田部	2785 田向 信夫 別所	
2768 名雪富久子 本郷	2786 野口 和子 横瀬	
2769 安藤 孝行 矢田部	2787 岩瀬 君枝 横瀬	



ふるさと歴史探索

孫渡し

(無形民俗文化財 下幡木地区)

妊娠婦が出産の忌の期間(二十一日・七十五日)家族と分れて生活したのが産屋です。出産に際して産屋が設けられた事は神話等にもみられますが、近時まで諸地方にこれに類した共同小屋や家屋の一部を利用する風習が残っていました。

「産屋あき」とは産婦が産の忌明け後、母屋に移ることが出来ることから、この呼称が残りました。

まちに残る行事としてこの産屋あきの日産婦の嫁ぎ先の家で行なわれるのが「孫渡し」の行事で、当家では紋付の産着を着た初孫が産土神へお詣りをし更に料理等をそろえ、産婦の嫁ぎ先の者が孫を正面に対座し、数々の祝い言や俚謡のうたいの中で産婦の里方から嫁ぎ先へ渡すという儀式が行なわれています。

(知手:藪田 紀仁)

編集後記

今まで親しまれてきた「シルバーだより かみす」は本号より「公益社団法人」に移行となり新たなスタートをきりました。次号からは新たな広報委員のメンバーとなってより身近な情報を皆様にお届けしたいと思っています。

今後とも神栖市シルバー人材センターの更なる発展のため皆様の倍旧のご支援・ご協力をお願いいたします。

(大野原:森 喬)



毎日笑うために、積極的に笑う機会を作ったり、ユーモアや笑顔を忘れないようにしましょう。

次のような事を意識するといいですよ。

- 面白い話を聞いたり、自分で考えたりして楽しく笑う。
- 面白いことがなくても表情は笑顔を心がける。
- 歌を歌うなど、自分の好きなことに打ち込む。
- 「好きなこと」をイメージする。
- 落語や漫才、お笑い番組、笑える番組など、笑う機会を積極的に作る。
- 笑った時の状況を「笑状日記」に書く。

お知らせ

●年会費はお早めに

平成25年度年会費(2,000円)を受付中です。未納の方は本所・支所いずれかの窓口で早めの納入をお願いいたします。

●未就業会員の皆さまへ

センターでは、剪定・草刈・除草・障子張りなど会員を募集しています。また事務局には「就業情報」も掲示してありますので、事務局まで気軽にお声をかけてください。「就業情報」はホームページでも公開中です。
<http://www.silver-brain.com/ibaraki/kamisu/>

●原稿募集中

「シルバーだより かみす」では、会員の皆様に親しく読んで頂くために随時原稿を募集しています。入会しての感想・現在の仕事の様子・ご家族のこと特技・趣味、俳句・短歌などなんでも結構です。お気軽にお寄せ頂ければ幸いです。

※本所・支所の窓口で随時受け付けています、ご協力いただいた方には粗品を進呈いたします。

